

令和 2年度 「校庭芝生化地域連携事業」 実績報告書

区市町村名	清瀬		
学校名	清瀬市	立	清瀬第七小学校

1 事業目的 協議会名 松山DX(松山デラックス)

・子供たち体を動かす喜びを味わうことで体力の向上を図る一助として、安全で気持ちよく体を動かせる環境を整備する。
 ・学校と地域の連携・協力を深め、地域の教育力を向上させる一助として、校庭芝生の維持管理を両者が協同して行う。

2 主な取組と成果

・今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、大幅に活動を縮小せざるを得なかったが、その中にも限られた機会を通して、芝生の維持管理の活動を行い、児童が安全で気持ちよく体を動かせる環境づくりに寄与することができた。
 ・本事業により経済財的な支援を受けたことで、地域と学校が協力して芝生の維持・管理を行う体制を作り、協同でして作業に当たることができる体制づくりの準備が整った。
 ・グリーンリーダーの配置により、地域と共同で芝を維持管理することができた。
 ・芝生の維持管理に地域がかかわったことで、芝生に対する理解が広がるとともに、さらに良質な環境を作ろうとする意識が地域の間生まれ始めた。

3 取組内容

【月例芝刈作業】
 ・4月から10月まで月に2～3回、土曜日の午前中に実施。
 ・広く地域のボランティアの参加を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮し、校庭利用団体及び保護者の会の参加は見合わせ、グリーンキーパーによる作業を行った。各会の参加人数は3名以内とした。



【芝の入手と校庭への移植作業】
 ・6月20日(土)に地域のグラウンドより入手した芝(ロール)の、校庭への移植作業を行った。
 ・地域のボランティア3名と学校管理職1名が参加。ロールを敷きつめる作業が5時間。翌日より散水作業に入った。この作業も参加人数を最小限に制限した。

【冬芝の育成作業】
 ・校庭の一部を閉鎖して冬芝を育てることができず、ビニールシートを敷いて11月1日(日)に冬芝の育苗準備を行った。12月中旬に校庭へ移植予定。



【松山DX会議の実施】
 ・芝養生の分担調整、今後の主催イベント等の検討のため、12月5日(土)に今年度第一回の松山DX会議を行った。参加者20名。グリーンキーパーの活動を保護者・地域に広め、理解と協力を求めることを確認。

・学校ホームページ等を活用し、保護者や地域住民に対し、子供にとっての芝生のよさを発信するとともに、芝生管理に対する理解と協力を促す。ただし、コロナ禍の現在、大きなイベントを組むことができないため、新たなコミュニティ形成は難しい。コロナの収束を見極めて、保護者の会、校庭利用団体の協力を得ながら芝管理の新たな体制を今後構築していく。
 ・校庭の一部に芝が張られていない状態になっている。今後、地域団体等と連携して芝生の養生を進めるとともに、共同作業を通じた地域のコミュニティ形成を促進する。